

1 DAY 「柘さん」のある1日。



取材・文・写真：
西村隆登(港まちづくり協議会)

12月21日 港まち俳句の会の活動日

子どもともに習い始めた書道はかれこれ40年。家の間を縫って書、絵画、俳句、ガーデニングと休む暇なし。孫からはカナダ土産のハーブティ、娘からはクレヨン、弟からは喉に効く柑橘じやばらをもらって、お返しには絵手紙。



8:30 ティータイム

若い頃からお客様の多い柘さん。町子さんは料理や飲み物のふるまいはまったく苦にならない、やりがいがあると言います。



7:00 手作りジャムのモーニング

手作りのジャムをたっぷりと塗って食べるが毎朝の風景。冷凍庫にはいちじくとりんご、じやばらのジャム。



7:30 庭仕事で菊の刈り取り

旦那さんが木の剪定、町子さんがガーデン担当で小菊の刈り取り。日々の生活に俳句のアイデアが見つかるのだと。



8:00 思いついたらメモ

20年以上続いている手帳。読書記録や料理のレシピ、旅のパンフレットの切り抜き…挿絵も入って、思い出の詰まったタイムカプセルみたい。

9:00 句会準備

句会の朝はいつもよりバタバタ。前回から1ヶ月の間に書き溜めた句から5つ選んで句会に持っていく。



11:30 キッチンは私の仕事場

夕飯の準備も兼ねたマカロニサラダ(「酢とオリーブオイルをいれてみたのよ!」)と、句の自然薯を使ったそうめん。



12:30 喫茶姉妹へ

句会前に喫茶姉妹へ。同じく俳句の会に所属する店主の裕子さんに句の相談。今月の季題「年用意」の句に悩む町子さん。

16:00 追憶の散歩

半世紀以上住む街は建物も住む人も変わり、思い出とともにテクテク。臨港病院は子どもたちがお世話になった。



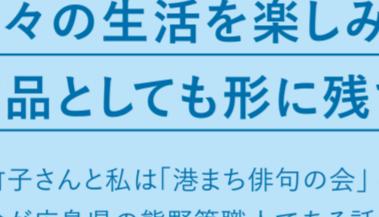
16:30 ダイニングで年賀状書き

キッチンに立つ時間だけでなく、写経、絵手紙、読書と自分の時間も大事にしています。



19:00 自選句の清算

ポットラックビル内にある「港まち俳句の会」掲示板。毎月ここに飾る短冊の清算は町子さんの大切な仕事。字の力が句に宿ります。



16:30 ダイニングで年賀状書き

ポットラックビル内にある「港まち俳句の会」掲示板。毎月ここに飾る短冊の清算は町子さんの大切な仕事。字の力が句に宿ります。



あくる日 西築地小学校トワイライトスクール

小学生たちに俳句を教えています。子ども達の素直な感性に刺激をもらっているそう。

柘さんの日常



※港まち俳句の会…子どもから大人まで楽しめる俳句の会として、月1で句会を開催。ポットラックビルでの俳句の展示の他、俳句コンテストも毎年開催。参加者随時募集中。詳しくは港まちづくり協議会のWebをご確認ください。

※港まち

